

くよみ通信

No.01・2018/12/01

「青陵の森の観察会」 滝に歴史を発見!

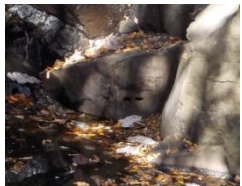
11月15日、青陵の森の観察会に行きました。顧問の八十川先生はじめ、ほぼ会員全員の参加で、関心の高さがひしひしと伝わりました。

先月の定例会では青陵の森に入った集いの広場の左側、北方面を探索しました。今回は、南側、滝のある方を観察、整備しました。

歩き出すと、主要道がきれいに掃除されていることに気がきました。学校の技師さん



↑・色づいた樹間を、整備しながら歩きました。気持ちいい!



↑・上が、滝の石にある二つのノミの跡と1本の切込み
下・道をふさぐ太い倒木を切り、寄せる

が事前にしてくれたのでしようか、ありがたいことです。細川の滝に続く道は、落ち枝や伸びすぎた草で覆われていました。太い倒木も通行を塞いでいます。

それをノコギリやナタで切り開く、なんだか冒険者になった気分でした。

滝のあるところに来ました。滝の石には、切り出したノミの穴の跡が幾つか見られました。八十川先生から、青葉城というよりは近くにあった臨濟院のためだったろうと説明を受けました。

すると誰かが細い直線の切込みを発見しました。よく見

るとあちこちに同じような縦の筋を見つけました。何のための切込み線なのか、その歴史はまだ謎です。みんな、調べてみたいものです。次回は、芋沢街道です。

「権現森」を歩きました

11月3日、権現森の紅葉を見る会があり、会員からは3名が参加しました。

権現森の南の頂に松尾神社が鎮座していました。

氏子総代の方もちようど参加されていて、そのいわれを拝聴できました。

中世、郷六氏の氏神として、京都の松尾大社から移遷したと伝えられているそうです。

ヤブムラサキとムラサキシキブの違い、知っていますか。現物を示しながら、詳しく教えてくれました。ちよつとは山野草の魅力が分かりました。



↑・紅葉真っ盛りの中、30名近くの市民の参加で楽しみました

今後の活動予定

12/20(木)

「芋沢街道～

権現森温泉を歩く」

- 集合 10:00 貝ヶ森市民センター (バス：S870 系統、国見ヶ丘三丁目福祉大野球場前 09:32 発、09:41 に JR 東北福祉大前駅着、160 円)
- コース 貝ヶ森市民センター⇒仙台藩火薬庫後の碑⇒疮瘡碑⇒芋沢街道踏切⇒弁財天⇒仏舍利⇒国見峠⇒大石原公園⇒権現森温泉⇒解散
- 会員のみ参加可能

1/17(木)

「青陵の森の

カタクリの花畑の整備」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- カマ、軍手、ノコギリなど道具類

2/21(木)

「青陵の森の

カタクリの花畑の整備」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- カマ、軍手、ノコギリなど道具類

ネットでも「くよみ通信」が見られます。
<http://www.sendai-shimincenter.jp/aoba/yoshinari/>